

## 育苗ネットの効果確認試験

JAたいせつ  
大田のうえん

## 試験目的

水稻育苗の省力化

試験作物  
及び品種

水稻育苗 マット 品種( )

試験資材  
及び数量(規格)

ら〜くらく育苗ネット・N-15(2.7m×50m) 透明 4枚

## 慣行資材

シルバーポリトウ

## 栽培方法

播種日

4月

## 試験結果

## (1)作業性について(慣行品との比較)

当初はネットの上から水をかける手間が発生するかと思っていたが、2回の灌水はそこまで手間とは感じなかった。(サイド灌水、一部手灌水)

水持ちの良い育苗箱にかえることも検討している。浮いている部分や、シワになっている部分が乾く傾向にあるため、被覆するにはコツが必要だと感じた。

## (2)作物の生育状況または、収穫への影響

シルバーポリトウと比較すると、数日生育が遅れると思っていたが、特別遅れもなかった。想像していたよりも保温力もあると感じた。

## (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：ヤケの心配がない点。カビが発生しない点。

【問題点】：シルバーポリトウと比較すると乾きが早い点。

## (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

何年間使用できるかを今後検討していく必要がある。今年度の試験に関しては特に弱いようには感じなかった。

## (5)促成・抑制効果について

慣行と比較して特に変わりはない。

## (6)保温効果について

想像していたよりも保温力はあると思う。

## モニター感想

これまではカビも一部発生することもあったが、ネット状になっているためその心配もなく想像以上に良い資材だった。

慣行と比較して生育が数日遅れてしまうかと思っていたが、特段遅れも発生しなかった。

価格や資材の耐久性を確認していきながら、試験品に更新していくか検討していきたい。

## JA担当者の感想(生産資材課 山川 氏)

生産者からの評価も良く、良い資材であると感じた。慣行と比較すると一部コツも必要とのことだったため、導入時には丁寧に説明しなくてはならないと思う。

慣行よりも導入コストは高くなるため、試験品がするシルバーポリトウよりも長く使用できることを期待している。

## 今後の使用について

継続して使用したい。